



ログファイル参照 StorageGRID

NetApp
September 05, 2024

目次

| | |
|-----------------------------|----|
| ログファイル参照 | 1 |
| StorageGRID ソフトウェアのログ | 3 |
| 導入とメンテナンスのログ | 8 |
| サードパーティソフトウェアのログ | 9 |
| bycast.log について | 10 |

ログファイル参照

StorageGRID には、イベント、診断メッセージ、およびエラー状態をキャプチャするために使用されるログが用意されています。テクニカルサポートにトラブルシューティングを依頼すると、ログファイルを収集して転送するように求められることがあります。

ログは次のように分類されます。

- [StorageGRID ソフトウェアのログ](#)
- [導入とメンテナンスのログ](#)
- [サードパーティソフトウェアのログ](#)
- [bystcast.log について](#)



各ログタイプの詳細情報は参考用です。これらのログは、テクニカルサポートが高度なトラブルシューティングに使用することを目的としています。監査ログやアプリケーションログファイルを使用して問題の履歴を再構築する高度な手法については、この手順では説明していません。

ログにアクセスするには、1 つ以上のノードからログファイルとシステムデータを単一のログファイルアーカイブとして収集します（* support * > * Tools * > * Logs *）。または、プライマリ管理ノードを使用できない場合や特定のノードに到達できない場合は、次の手順で各グリッドノードの個別のログファイルにアクセスできます。

1. 次のコマンドを入力します。 `ssh admin@grid_node_name`
2. 「passwords.txt」ファイルに記載されたパスワードを入力します。
3. root に切り替えるには、次のコマンドを入力します
4. 「passwords.txt」ファイルに記載されたパスワードを入力します。

StorageGRID ログファイルアーカイブには、カテゴリごとに説明されているログ、およびメトリックと debug コマンドの出力が含まれている追加ファイルが含まれています。

| アーカイブの場所 | 説明 |
|--------------|--|
| 監査 | 通常システム動作中に生成される監査メッセージです。 |
| base-os-logs | StorageGRID イメージのバージョンなど、ベースとなるオペレーティングシステムの情報。 |
| バンドル | グローバル構成情報（バンドル）。 |
| Cassandra | Cassandra データベース情報と Reaper 修復ログ。 |
| EC | プロファイル ID に基づいて、現在のノードおよび EC グループの情報が VCS に表示されます。 |

| | |
|------------------|--|
| アーカイブの場所 | 説明 |
| グリッド（Grid） | デバッグ (bycast.log) や「servermanager」ログを含む一般的なグリッドログ。 |
| grid.xml | グリッド構成ファイルをすべてのノードで共有 |
| シュラウド | ハイアベイラビリティグループの指標とログ。 |
| をインストールします | Gdu-server' ログとインストール・ログ |
| lumberjack.log | ログ収集に関連するデバッグメッセージ。 |
| Lambda - アービトレータ | S3 Select プロキシ要求に関連するログです。 |
| 指標 | Grafana、Jaeger、ノードエクスポータ、および Prometheus のサービスログ。 |
| 計算ミス | Miscd アクセスログとエラーログ。 |
| MySQL | MariaDB データベースの設定と関連ログ。 |
| ネット | ネットワーク関連のスクリプトおよび Dyip サービスによって生成されるログ。 |
| nginx | ロードバランサの構成ファイルとログ：Grid Manager と Tenant Manager のトラフィックログも含まれます。 |
| nginx-gw と入力します | ロードバランサの構成ファイルとログ： |
| NTP | NTP 構成ファイルとログ： |
| OS | ノードおよびグリッドの状態ファイル（サービス「pid」を含む） |
| その他 | 他のフォルダには収集されない '/var/local/log' の下にログ・ファイルが格納されます |
| パフォーマンス | CPU、ネットワーク、ディスク I/O のパフォーマンス情報 |
| prometheus-data | ログ収集に Prometheus データが含まれている場合、現在の Prometheus 指標。 |
| プロビジョニング | グリッドのプロビジョニングプロセスに関連するログです。 |
| ラフト | プラットフォームサービスで使用する Raft クラスタのログ。 |

| アーカイブの場所 | 説明 |
|---------------------|--|
| SNMP | SNMP エージェント設定およびアラーム許可 / 拒否リストは、SNMP 通知の送信に使用されます。 |
| ソケット - データ | ネットワークデバッグ用のソケットデータ。 |
| system-commands.txt | StorageGRID コンテナコマンドの出力。ネットワークやディスクの使用状況などのシステム情報が含まれます。 |

関連情報

[ログファイルとシステムデータを収集](#)

StorageGRID ソフトウェアのログ


StorageGRID のログを問題のトラブルシューティングに使用できます。



ログを外部 syslog サーバに送信する場合、または「bycast.log」や「nms.log」などの監査情報の送信先を変更する場合は、を参照してください [監査メッセージとログの送信先を設定します](#)。

一般的な StorageGRID ログです

| ファイル名 | 注： | にあります |
|-------------------------------|---|---------|
| /var/local/log/bycast.log | プライマリ StorageGRID トラブルシューティングファイル。サポート * > * ツール * > * グリッドトポロジ * を選択します。次に、 [Site>*Node*>SSM*>Events] を選択します。 | すべてのノード |
| /var/local/log/bycast-err.log | "bycast.log" のサブセット (重大度が ERROR と CRITICAL のメッセージ) を含みます。クリティカルなメッセージはシステムにも表示されます。サポート * > * ツール * > * グリッドトポロジ * を選択します。次に、 [Site>*Node*>SSM*>Events] を選択します。 | すべてのノード |

| ファイル名 | 注： | にあります |
|-------------------|--|---------|
| /var/local/core/` | <p>プログラムが異常終了した場合に作成されるコアダンプファイルが格納されます。原因としては、アサーションエラー、違反、スレッドのタイムアウトなどが考えられます。</p> <div>  <p>ファイル '/var/local/core/kexec_cmd' は通常アプライアンスノードに存在し 'エラー'を示していません</p> </div> | すべてのノード |

Server Manager のログです

| ファイル名 | 注： | にあります |
|---------------------------------------|---|---------|
| /var/local/log/servermanagers.log | サーバで実行されている Server Manager アプリケーションのログファイルです。 | すべてのノード |
| /var/local/log/GridstatBackend.errlog | Server Manager GUI バックエンドアプリケーションのログファイルです。 | すべてのノード |
| /var/local/log/gridstat.errlog | Server Manager GUI のログファイルです。 | すべてのノード |

StorageGRID サービスのログ

| ファイル名 | 注： | にあります |
|----------------------------|---|-------------------------|
| /var/local/log/acct.errlog | | ADC サービスを実行しているストレージノード |
| /var/local/log/adc errlog | 対応するサービスの標準エラー（stderr）ストリームが格納されます。サービスごとに 1 つのログファイルがあります。これらのファイルは、サービスに問題がなければ通常は空になります。 | ADC サービスを実行しているストレージノード |
| /var/local/log/ames.errlog | | 管理ノード |
| /var/local/log/arc.errlog | | アーカイブノード |

| ファイル名 | 注： | にあります |
|--|--|-----------|
| /var/local/log/cassandra/system.log | メタデータストア（Cassandra データベース）の情報。新しいストレージノードの追加時に問題が発生した場合、または nodetool repair タスクが停止した場合に使用できます。 | ストレージノード |
| /var/local/log/cassandra-reape.log | Cassandra Reaper サービスの情報。Cassandra データベース内のデータの修復を実行します。 | ストレージノード |
| /var/local/log/cassandra-reaper.errlog | Cassandra Reaper サービスのエラー情報。 | ストレージノード |
| /var/local/log/chunk.errlog | | ストレージノード |
| /var/local/log/CLB.errlog | CLB サービスのエラー情報。 ・注：* CLB サービスは廃止されました。 | ゲートウェイノード |
| /var/local/log/cmN.errlog | | 管理ノード |
| /var/local/log/cMS.errlog | このログファイルは、古いバージョンの StorageGRID からアップグレードされたシステムに存在する場合があります。古い情報が含まれています。 | ストレージノード |
| /var/local/log/CTS.errlog | このログファイルは、ターゲットタイプが * Cloud Tiering - Simple Storage Service（S3）. * の場合にのみ作成されます | アーカイブノード |
| /var/local/log/dDS.errlog | | ストレージノード |
| /var/local/log/dmv.errlog | | ストレージノード |
| /var/local/log/dynip* | グリッドで IP の動的な変更を監視してローカル設定を更新する dynip サービスに関連するログが記録されます。 | すべてのノード |
| /var/local/log/grafna.log | Grid Manager で指標を視覚化するために使用される Grafana サービスに関連付けられたログ。 | 管理ノード |

| ファイル名 | 注： | にあります |
|------------------------------------|--|--|
| /var/local/log/hagroups.log | ハイアベイラビリティグループに関連付けられているログ。 | 管理ノードとゲートウェイノード |
| /var/local/log/hagroups_events.log | バックアップからマスターまたは障害への移行など、状態の変化を追跡します。 | 管理ノードとゲートウェイノード |
| /var/local/log/idnt.errlog | | ADC サービスを実行しているストレージノード |
| /var/local/log/Jaeger.log のようになります | Jaeger サービスに関連付けられたログ。これは、トレース収集に使用されます。 | すべてのノード |
| /var/local/log/kstn.errlog | | ADC サービスを実行しているストレージノード |
| /var/local/log/lambda * | S3 Select サービスのログが記録されます。 | 管理ノードとゲートウェイノード このログは特定の管理ノードとゲートウェイノードにのみ記録されます。を参照してください S3 Select の管理ノードとゲートウェイノードの要件と制限事項 。 |
| /var/local/log/ldr.errlog | | ストレージノード |
| /var/local/log/miscd/* .log | MISCd （ Information Service Control Daemon ） サービスのログが記録されます。このサービスは、他のノード上のサービスの照会と管理、およびノードの環境設定の管理（他のノードで実行されているサービスの状態の照会など）を行うためのインターフェイスを提供します。 | すべてのノード |
| /var/local/log/nginx/* .log | nginx サービスのログが記録されます。このサービスは、各種のグリッドサービス（ Prometheus や dynip など）が HTTPS API を介して他のノード上のサービスと通信できるようにするための、認証とセキュアな通信のメカニズムとして機能します。 | すべてのノード |

| ファイル名 | 注： | にあります |
|--|--|---------------------------|
| /var/local/log/nginx-gw/*.log | 管理ノード上の制限された管理ポートのログ、およびクライアントからストレージノードへの S3 と Swift のトラフィックのロードバランシングを実現するロードバランササービスのログが記録されます。 | 管理ノードとゲートウェイノード |
| /var/local/log/persistence * | Persistence サービスのログが記録されます。このサービスは、リブート後も維持する必要があるルートディスク上のファイルを管理します。 | すべてのノード |
| /var/local/log/prometheus.log | すべてのノードを対象に、node exporter サービスのログと ade-exporter サービスのログが記録されます。 管理ノードについては、Prometheus サービスと Alert Manager サービスのログも記録されます。 | すべてのノード |
| /var/local/log/raft.log | RSM サービスで Raft プロトコルに使用されるライブラリの出力が含まれます。 | RSM サービスを搭載しているストレージノードです |
| /var/local/log/rMS.errlog | S3 プラットフォームサービスで 사용되는 Replicated State Machine (RSM) サービスのログが記録されます。 | RSM サービスを搭載しているストレージノードです |
| /var/local/log/ssm.errlog | | すべてのノード |
| /var/local/log/update-s3vs-domains.log | S3 仮想ホストドメイン名設定の更新の処理に関連するログが記録されます。S3 クライアントアプリケーションを実装する手順を参照してください。 | 管理ノードとゲートウェイノード |
| /var/local/log/update-snmp-firewall.* | SNMP 用に管理されているファイアウォールポートに関連するログが記録されます。 | すべてのノード |
| /var/local/log/update-sysl.log | システムの syslog 設定に対する変更に関連するログが記録されます。 | すべてのノード |
| /var/local/log/update-traffic-classes/log' | トラフィック分類子設定の変更に関連するログが含まれます。 | 管理ノードとゲートウェイノード |

| ファイル名 | 注： | にあります |
|------------------------------|---|---------|
| /var/local/log/update-cn.log | このノードでの「信頼されていないクライアントネットワーク」モードに関連するログが記録されます。 | すべてのノード |

NMS ログ

| ファイル名 | 注： | にあります |
|---------------------------------------|---|-------|
| /var/local/log/nms.log | <ul style="list-style-type: none"> • Grid Manager と Tenant Manager からの通知が記録されます。 • アラーム処理、E メール通知、設定の変更など、NMS サービスの処理に関連するイベントが記録されます。 • システムで行われた設定の変更に伴う XML バンドルの更新が格納されます。 • 1 日に 1 回実行される属性のダウンサンプリングに関連するエラーメッセージが格納されます。 • ページ生成エラーや HTTP ステータス 500 エラーなど、Java Web サーバのエラーメッセージが格納されます。 | 管理ノード |
| /var/local/log/nms.errlog | <p>MySQL データベースのアップグレードに関連するエラーメッセージが格納されます。</p> <p>対応するサービスの標準エラー（stderr）ストリームが格納されます。サービスごとに 1 つのログファイルがあります。これらのファイルは、サービスに問題がなければ通常は空になります。</p> | 管理ノード |
| /var/local/log/nms.requestlog」 と入力します | 管理 API から内部 StorageGRID サービスへの発信接続に関する情報が含まれます。 | 管理ノード |

関連情報

[bicast.log](#) について

[S3](#) を使用する

導入とメンテナンスのログ

導入とメンテナンスのログを問題のトラブルシューティングに使用できます。

| ファイル名 | 注： | にあります |
|---------------------------------------|---|------------|
| /var/local/log/install.log | ソフトウェアのインストール時に作成されます。インストールイベントが記録されます。 | すべてのノード |
| /var/local/log/expansion-progress.log | 拡張処理中に作成されます。拡張イベントが記録されます。 | ストレージノード |
| /var/local/log/gdu-server.log | GDU サービスによって作成されます。プライマリ管理ノードによって管理されるプロビジョニングとメンテナンスの手順に関連するイベントが記録されます。 | プライマリ管理ノード |
| /var/local/log/send_admin_hw.log | インストール時に作成されます。プライマリ管理ノードとの通信に関連するデバッグ情報が記録されます。 | すべてのノード |
| /var/local/log/upgrade.log | ソフトウェアのアップグレード中に作成されます。ソフトウェア更新イベントが記録されます。 | すべてのノード |

サードパーティソフトウェアのログ

サードパーティソフトウェアのログを問題のトラブルシューティングに使用できます。

| カテゴリ | ファイル名 | 注： | にあります |
|-------|---|---|----------|
| アーカイブ | /var/local/log/dsierror.log | TSM クライアント API のエラー情報。 | アーカイブノード |
| MySQL | /var/local/log/mysql.err/var/local/log/mysql-slow.log | <p>MySQL によって生成されるログファイルです。</p> <p>ファイル 'mysql.err' は ' データベースのエラーと起動やシャットダウンなどのイベントをキャプチャします</p> <p>ファイル 'mysql-slow.log' (スロークエリログ) は ' 実行に 10 秒以上かかった SQL 文をキャプチャします</p> | 管理ノード |

| カテゴリ | ファイル名 | 注： | にあります |
|--------------|--|---|--|
| オペレーティングシステム | /var/local/log/messages | このディレクトリには、オペレーティングシステムのログファイルが格納されます。これらのログに記録されたエラーは、Grid Manager にも表示されます。サポート * > * ツール * > * グリッドトポロジ * を選択します。次に、 * Topology * > * Site * > * Node * > * SSM * > * Events * を選択します。 | すべてのノード |
| NTP | /var/local/log/ntp.log /var/lib/ntp/var/log/ntpstats/ | <p>/var/local/log/ntp.log には、NTP エラーメッセージのログファイルが格納されています。</p> <p>/var/lib/ntp/var/log/ntpstats/ ディレクトリには、NTP タイミングの統計情報が格納されています。</p> <p>「loopstats」は、ループフィルタの統計情報を記録します。</p> <p>「peerstats」は、ピアの統計情報を記録します。</p> | すべてのノード |
| サンバ | /var/local/log/samba/ | Samba のログディレクトリには、各 Samba プロセス（smb、nmb、および winbind）とすべてのクライアントのホスト名 / IP を記録したログファイルが格納されます。 | CIFS 経由で 監査共有をエクスポートするように設定された管理ノード |

bycast.log について

ファイル /var/local/log/bycast.log は、StorageGRID ソフトウェアの主要なトラブルシューティングファイルです。すべての Grid ノードに「bycast.log」ファイルがあります。ファイルに、そのグリッドノードに固有のメッセージが含まれています。

ファイル「/var/local/log/bycast-err.log」は「bycast.log」のサブセットです。ERROR と CRITICAL の重大度のメッセージが含まれています。

必要に応じて、監査ログのデスティネーションを変更したり、監査情報を外部 syslog サーバに送信したりできます。外部 syslog サーバが設定されても、監査レコードのローカルログは引き続き生成および格納されます。を参照してください [監査メッセージとログの送信先を設定します](#)。

bycast.log ファイルのローテーション

"bycast.log" ファイルが 1GB に達すると、既存のファイルが保存され、新しいログファイルが開始されます。

保存されたファイルの名前は "bycast.log.1" に変更され、新しいファイルの名前は "bycast.log" になります。新しい「bycast.log」が 1GB に達すると、「bycast.log.1」の名前が変更され、「bycast.log.2.gz」に変換され、「bycast.log」の名前が「bycast.log.1」に変更されます。

"bycast.log" のローテーション制限は 21 ファイルです。「bycast.log」ファイルの 22 番目のバージョンが作成されると、最も古いファイルが削除されます。

「bycast-err.log」のローテーション制限は 7 ファイルです。



圧縮されたログファイルは、ファイルが圧縮された同じ場所に解凍しないでください。ファイルを同じ場所で解凍すると、ログローテーションスクリプトの妨げになることがあります。

必要に応じて、監査ログのデスティネーションを変更したり、監査情報を外部 syslog サーバに送信したりできます。外部 syslog サーバが設定されても、監査レコードのローカルログは引き続き生成および格納されます。を参照してください [監査メッセージとログの送信先を設定します](#)。

関連情報

[ログファイルとシステムデータを収集](#)

bycast.log のメッセージです

"bycast.log" 内のメッセージは 'ADE (非同期分散環境)' によって書き込まれます ADE は、グリッドノードの各サービスで使用するランタイム環境です。

ADE のメッセージの例：

```
May 15 14:07:11 um-sec-rg1-agn3 ADE: |12455685      0357819531
SVMR EVHR 2019-05-05T27T17:10:29.784677| ERROR 0906 SVMR: Health
check on volume 3 has failed with reason 'TOUT'
```

ADE のメッセージには次の情報が含まれています。

| メッセージセグメント | 例の値 |
|-------------|--|
| ノード ID | 12455685 |
| ADE プロセス ID | 0357819531 |
| モジュール名 | SVMR |
| メッセージ ID | EVHR |
| UTC システム時間 | 2019-05-05T27T17 : 10 : 29.784677 (YYYY-MM-DDTHH : MM : SS.ffffffffffff) |
| 重大度レベル | エラー |
| 内部追跡番号 | 0906. |

| | |
|------------|---|
| メッセージセグメント | 例の値 |
| メッセージ | SVMR : ボリューム 3 のヘルスチェックが失敗しました。理由: 「TOUT」 |

bycast.log のメッセージの重大度

"bycast.log" のメッセージには重大度レベルが割り当てられています。

例:

- *notice* -- 記録すべきイベントが発生しました。ほとんどのログメッセージはこのレベルです。
- *warning* — 予期しない状態が発生しました。
- *error* — 操作に影響を与える大きなエラーが発生しました。
- *critical* — 異常な状態が発生し、通常の動作が停止しました。原因となった状態にすぐに対処する必要があります。クリティカルなメッセージは Grid Manager にも表示されます。サポート * > ツール * > *グリッドトポロジ* を選択します。次に、[* Site *] > [* Node *] > *SSM* > *Events* を選択します。

のエラーコード bycast.log

"bycast.log" のほとんどのエラーメッセージには、エラーコードが含まれています。

次の表は 'bycast.log' の一般的な非数値コードを示しています。非数値コードの正確な意味は、レポートされるコンテキストによって異なります。

| エラーコード | 意味 |
|--------|------------|
| SUCS | エラーはありません |
| GERR | 不明です |
| CANC | キャンセルされました |
| ABRT | 中止しました |
| TOUT | タイムアウト |
| INVL | 無効です |
| NFND | が見つかりません |
| vers | バージョン |
| 会議 | 設定 |

| エラーコード | 意味 |
|--------|--------------|
| 失敗 | 失敗しました |
| ICPL | 不完全です |
| 完了しました | 完了しました |
| SUNV | サービスを利用できません |

次の表に 'bycast.log' の数値エラーコードを示します

| エラー番号 | エラーコード | 意味 |
|--------|---------|--------------------------|
| 001 | EPERM | 操作は許可されていません |
| 002 | ENOENT | 指定したファイルまたはディレクトリは存在しません |
| 003 | ESRCH | そのようなプロセスはありません |
| 004.00 | EINTR | システムコールが中断されました |
| 005 | EIO | I/O エラー |
| 6、6 | ENXIO | 該当するデバイスまたはアドレスはありません |
| 007 | E2BIG | 引数リストが長すぎます |
| 008 | ENOEXEC | EXEC フォーマットエラー |
| 009 | EBADF | ファイル番号が正しくありません |
| 010 | ECHILD | 子プロセスはありません |
| 011 | EAGAIN | 再試行してください |
| 012. | ENOMEM | メモリ不足です |
| 013 | EACCES | 権限が拒否されました |
| 014 | デフォルト | アドレスが無効です |
| 015 | ENOTBLK | ブロックデバイスが必要です |

| エラー番号 | エラーコード | 意味 |
|-------|--------------|-------------------|
| 016 | EBUSY | デバイスまたはリソースがビジー |
| 017 | EEXIST | ファイルが存在します |
| 018 | EXDEV の場合 | クロスデバイスリンク |
| 019 | ENODEV | 該当するデバイスはありません |
| 020 | ENOTDIR | ディレクトリではありません |
| 021 | EISDIR | はディレクトリです |
| 022 | EINVAL | 引数が無効です |
| 023 | ENFILE | ファイルテーブルオーバーフローです |
| 024 | EMFILE | 開いているファイルが多すぎます |
| 025 | ENOTTY | タイプライターではありません |
| 026 | ETXTBSY | テキストファイルがビジーです |
| 027 | EFBIG | ファイルが大きすぎます |
| 028 | ENOSPC | デバイスにスペースが残っていません |
| 029 | ESPIPE | 不正なシークです |
| 030 | EROFS | 読み取り専用ファイルシステム |
| 031 | EMLINK | リンクが多すぎます |
| 032 | EPIPE | パイプ破損 |
| 033 | エドム | 関数のドメイン外の数学引数 |
| 034 | エスランゲ | 数学結果は表現できません |
| 035 | EDEADLK | リソースのデッドロックが発生する |
| 036 | ENAMETOOLONG | ファイル名が長すぎます |

| エラー番号 | エラーコード | 意味 |
|-------|-------------|---------------------|
| 037 | ENOLCK | 使用可能なレコードロックがありません |
| 038 | ENOSYS | 関数が実装されていません |
| 039 | ENOTEMPTY | ディレクトリが空ではありません |
| 040 | ELOOP | シンボリックリンクが多すぎます |
| 041 | | |
| 042 | ENOMSG | 必要なタイプのメッセージがありません |
| 043 | EIDRM | 識別子が削除されました |
| 044 | ECHRNG | チャンネル番号が範囲外です |
| 045 | EL2NSYNC | レベル 2 が同期されていません |
| 046 | EL3HLT | レベル 3 が停止しました |
| 047 | EL3RST | レベル 3 リセット |
| 048 | ELNRNG | リンク番号が範囲外です |
| 049 | EUNATCH | プロトコルドライバが接続されていません |
| 050 | ENOC SI | CSI 構造がありません |
| 051 | EL2HLT | レベル 2 が停止しました |
| 052 | EBADE の実行 | 無効な交換です |
| 053. | EBADR | 無効な要求記述子です |
| 054 | EXFULL (完全) | Exchange がいっぱいです |
| 055 | ENOANO | アノードなし |
| 056 | EBADRQC | 無効な要求コードです |
| 057. | EBADSLT | 無効なスロットです |

| エラー番号 | エラーコード | 意味 |
|-------|----------------|----------------------|
| 058 | | |
| 059. | EBFONT | フォントファイルの形式が正しくありません |
| 060 | ENOSTR | デバイスはストリームではありません |
| 061 | ENODATA | 使用できるデータがありません |
| 062 | イータイム | タイマーが切れました |
| 063 | ENOSR | Out of Streams のリソース |
| 064 | ENONET | マシンがネットワーク上にありません |
| 065 | ENOPKG | パッケージがインストールされていません |
| 066 | EREMOTE | オブジェクトがリモートです |
| 067 | ENOLINK | リンクが切断されました |
| 068 | EADV | アドバタイズエラー |
| 069 | ESRMNT | Srmount エラー |
| 070 | エコム | 送信時の通信エラーです |
| 071 | EPROTO | プロトコルエラー |
| 072 | EMULTIHOP | マルチホップが試行されました |
| 073 | EDOTDOT | RFS 固有のエラー |
| 074 | EBADMSG と入力します | データメッセージではありません |
| 075 | EOVERFLOW | 定義されたデータ型の値が大きすぎます |
| 076 | ENOTUNIQ | 名前がネットワーク上で一意ではありません |
| 077 | EBADFD | ファイル記述子が無効な状態です |
| 078 | エルム変更 | リモートアドレスが変更されました |

| エラー番号 | エラーコード | 意味 |
|-------|--------------------|-----------------------------|
| 079 | ELIBACC | 必要な共有ライブラリにアクセスできません |
| 080 | ELIBBAD 社 | 破損した共有ライブラリにアクセスしています |
| 081. | ELIBSCN | |
| 082 | ELIBMAX | リンクしようとしている共有ライブラリが多すぎます |
| 083 | ELIBEXEC | 共有ライブラリを直接実行することはできません |
| 084 | EILSEQ | 不正なバイトシーケンスです |
| 085 | ERESTART | 中断されたシステムコールを再開する必要があります |
| 086 | ESTRPIPE | ストリームパイプエラー |
| 087 | EUSERS | ユーザが多すぎます |
| 088 | ENOTSOCK | ソケット以外でのソケット操作 |
| 089 | EDESTADDRREQ | 送信先アドレスは必須です |
| 090 | EMSGSIZE | メッセージが長すぎます |
| 091. | EPROTOTYPE | ソケットのプロトコルタイプが正しくありません |
| 092. | ENOPROTOOPT | プロトコルを使用できません |
| 093. | EPROTONOSUPPORT | サポートされていないプロトコルです |
| 094 | ESOCKTNOSUPPORT の略 | ソケットタイプはサポートされていません |
| 095 | EOPNOZ TSUPP | この処理は転送エンドポイントではサポートされません |
| 096 | EPFNOSUPPORT | サポートされていないプロトコルファミリーです |
| 097. | EAFNOSUPPORT | アドレスファミリーはプロトコルでサポートされていません |

| エラー番号 | エラーコード | 意味 |
|-------|---------------|----------------------------|
| 098 | EADDRINUSE | アドレスはすでに使用されています |
| 099 | EADDRNOTAVAIL | 要求アドレスを割り当てることができません |
| 100 | ENETDOWN | ネットワークが停止しています |
| 101 | ENETUNREACH | ネットワークに到達できません |
| 102 | ENETRESET | リセットのためネットワークが接続を切断しました |
| 103 | ECONNABORTED | ソフトウェアが接続を中止しました |
| 104 | ECONNRESET | ピアによって接続がリセットされました |
| 105 | ENOBUFS | 使用可能なバッファスペースがありません |
| 106. | EISCONN | トランスポートエンドポイントはすでに接続されています |
| 107 | ENOTCONN | トランスポートエンドポイントが接続されていません |
| 108 | ESH ダウンタウン | 転送エンドポイントのシャットダウン後に送信できません |
| 109 | ETOOMANYREFS | 参照が多すぎます：スプライスできません |
| 110 | ETIMEDOUT | 接続がタイムアウトしました |
| 111 | ECONNREFUSED | 接続が拒否されました |
| 112 | EHOSTDOWN | ホストが停止しています |
| 113. | EHOSTUNREACH | ホストへのルートがありません |
| 114 | エアルレーダド | 処理をすでに実行中です |
| 115 | 実行中 | 処理を実行中です |
| 116 | | |
| 117. | EUCLEAN | 構造はクリーニングが必要です |

| エラー番号 | エラーコード | 意味 |
|-------|--------------------|--------------------------|
| 118 | ENOTNAM | XENIX という名前のファイルではありません |
| 119 番 | ENAVAIL | XENIX セマフォがありません |
| 120 | EISNAM | は、名前付きタイプファイルです |
| 121. | EREMOTEIO | リモート I/O エラーです |
| 122 | EDQUOT | クォータを超過しました |
| 123 | ENOMEDIUM | メディアが見つかりません |
| 124 | EMEDIUMTYPE | メディアタイプが正しくありません |
| 125 | ECANCELED | 処理がキャンセルされました |
| 126 | ENOKEY | 必要なキーがありません |
| 127 | エクイメピ RED も含まれています | キーの有効期限が切れました |
| 128 | エーケヨヴォエド | キーが取り消されました |
| 129 | EKEYREJECTED | キーがサービスによって拒否されました |
| 130 | EOWNERDEAD の場合 | 堅牢な mutex のため：所有者は死んだ |
| 131 | ENOTRECOVERABLE | 堅牢な mutex の場合：状態は回復できません |

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。